

平成26年度 第4回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

開催日及び場所	平成27年2月12日 県庁11階第1・2会議室	
出席者氏名	幸喜令信 有住康則 真喜屋治 平良あき子 古荘みわ 榎本拓也 友利廣	
審議対象期間	平成26年8月1日 ~ 平成26年11月30日	
再苦情処理件数	件数 0件	
入札審議内容 及び件数	建設工事	建設工事に係る測量、調査、設計及び工事監理業務
	総件数 397件	総件数 96件
一般競争入札	113件	5件
総合評価	67件	7件
指名競争入札	201件	76件
随意契約	16件	8件
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 の具申の内容	なし	
その他の意見	特になし	

平成26年度第4回 沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 抽出事案一覧

1. 建設工事 抽出事案

一般競争入札		
工事名	工種	担当課・所
沖縄県総合行政情報通信ネットワーク整備工事	電気通信工事	総合情報政策課
沖縄県平和祈念資料館ブラインチラー等更新工事	管工事	平和祈念資料館

総合評価方式		
工事名	工種	担当課・所
奥武山総合運動公園庭球場改修工事(H26-1)	土木一式工事	南部土木事務所

指名競争入札		
工事名	工種	担当課・所
本部港(本部地区)岸壁(-7.5m)基礎工工事(H26-2)	土木一式工事	北部土木事務所
嘉手納漁港航路及び泊地災害復旧工事	しゅんせつ工事	漁港漁場課

随意契約		
工事名	工種	担当課・所
離島地区海底光ケーブル等整備工事	電気通信工事	総合情報政策課
知事公舎警備室南側擁壁設置工事	土木一式工事	管財課

2. 建設工事に係る測量、調査、設計及び工事監理の業務 抽出事案

指名競争入札		
業務名	業種	担当課・所
中部管内道路施設(舗装)総点検業務委託(H26-2)	土木関係建設コンサルタント	中部土木事務所

随意契約		
業務名	業種	担当課・所
沖縄県総合行政情報通信ネットワーク整備工事施工管理業務	土木関係建設コンサルタント	総合情報政策課
島仲地区調査測量設計委託業務	土木関係建設コンサルタント	八重山農林水産振興センター農林水産整備課

平成26年度 第4回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

意見・質問	回答
<p>Q 1 「中部管内道路施設（舗装）総点検業務委託（H26-2）の積算基準はどのように算定されたのか。また、落札率が低い業者に対する業務の質の低下はないのか。</p>	<p>A 1 経済調査会・物価調査会などに歩掛調査を行い、適正な積算を行っています。</p> <p>落札業者が実績重視で低価格で落札した結果、低い落札率となっておりますが、品質については問題ないと判断し、契約後も順調に業務の目的を果たしております。</p>
<p>Q 2 「沖縄県総合行政情報通信ネットワーク整備工事」の予定価格の積算方法について教えていただきたい。また、低入札調査基準価格の業者の審議は行われたのか。</p>	<p>A 2 予定価格の積算については、発注者である沖縄県総合情報政策課にて土木の基準等を摘要し、算定しております。</p> <p>低入札調査基準価格を下回った業者については、追加資料提出を依頼し、ヒアリングを行いました。結果、設計仕様・積算根拠・労働者の供給見通しに不備があったため、不適合となっております。</p>
<p>Q 3 「島仲地区測量設計委託業務」におけるプロポーザル方式の点数結果について僅差となっているが、総合評価方式を選択することは考えなかったのか。</p>	<p>A 3 業務場所が与那国島であり、文化財埋設が見込まれている地域であったため、技術提案を行ってもらう必要があり、プロポーザル方式にて入札を行いました。結果、点数は僅差となっております。総合評価方式を行うことは可能です。</p>
<p>Q 4 「離島地区海底光ケーブル等整備工事」における審査様式（配点）について教えてください。</p>	<p>A 4 提案項目について評価を行っており、当該項目については、大きく費用関係、経験及び能力、実施方針、技術提案、その他という内容で設定しています。例えば実施設計の実績件数に対し配点を1点刻みで設け、100点を満点とし、最低ラインは60点としております。</p>

Q 5

「嘉手納漁港航路及び泊地災害復旧工事」について応札された金額と比較して予定価格が高すぎるように感じるが、算定方法はどうか。

A 5

本工事は、河川の泊地と航路に溜まった土砂を撤去する工事です。積算基準に歩掛りがあり、応札される業者さんの多くは積算基準能力の精度が高く、このため、予測される最低制限価格のラインに金額が集中してしまうのが現状です。算定については適正な価格だと判断しております。

Q 6

「沖縄県平和記念資料館ブラインチラー等更新工事」については落札率が54.5%とかなり低いが、予定価格が高すぎて発注者に不利益が生じてはいないか。また逆に、下請に対してしわ寄せがきていないか。

A 6

予算要求前に参考見積をもらい算定を行っております。工事発注時期が空調工事のあまり行われないうち12月から3月の時期であるということが影響しているのではないかと考えます。また、品質に関しても特注の機材更新ではありますが、問題はありません。施工体制についても確認しており、元請にてすべて施行するとのことでした。

Q 7

作業船確保が必要な工事において、自社の作業船を保有している会社と傭船する会社とでは、実施前の積算と実行予算では差があると思うが、業者の育成や県の品質確保について何か行っているか。

A 7

九州などからの傭船契約についても、対象としております。また、本来は自社保有の作業船が良いと思います。離島における工事について傭船では厳しい部分がある場合は、業者さんに十分了解してもあった上で応札していただくこともあります。ただし、台風等で避難を要する場合は、設計変更で対応しております。